

題材名『虫になって大ぼうけん』

(3時間)

【題材について】 ※ PR文「ふしぎな虫に変身して、大ぼうけんにでかけよう」

- 不思議の国を冒険するために、自分はどんな虫に変身するか想像し、空き箱や木の枝などの材料から発想を広げ、新しい形を思いついたり、考えたりしながら、楽しんで作ることができる。
- 友だちの作品を見て、良さや違いを感じることができる。

〔本時のめあて〕 ◎ 自分が変身したい虫を考え、材料の特徴をいかして作る。

◎ 不思議の国を冒険するために変身する虫を作ることを楽しむ。

◎ 友だちの作品を見て、良さや違いを感じ取る。

本時の展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援 (☆個別支援アイテム)
1 不思議の国を冒険するために、自分が虫に変身することを知らせ、イメージ図をかく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真を提示し、不思議の国を想像させる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不思議の国の空・陸・水中・地中のどこで冒険するか考えさせ、変身したい虫のイメージをもたせる。</li> </ul> </li> <li>○ イメージ図は、大まかなものでよいことを知らせる。</li> <li>☆ イメージ図がかきにくい児童には、自分が冒険したい場所やそこでしたいことなどを考えさせたり、友だちのイメージ図を見せたりする。</li> </ul>
2 材料を集め、虫を作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料からの発想を大切にし、イメージ図と違うものになっても良いことを知らせる。</li> <li>☆ 材料が集められない児童には、イメージ図にこだわらず、自分が変身したい虫を作って良いことを話す。</li> </ul>
3 ミニ鑑賞会をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友だちの作品の工夫しているところやおもしろいところ、自分との違いなどを見つけさせる。</li> </ul>

〔成果と課題〕・・・ヒット題材にするためには？

- ・ 虫は身近な生き物であり、子どもたちがよく目にしていることや、理科で虫の学習をしているので、虫に対しての関心が大きかったことなどから、変身したい虫のイメージはもちやすく、想像を広げながら作ることを楽しんでいた。
- ・ 材料の種類や道具との出会いを大切にすることで、子どもたちの想像が広がり、意欲も高まった。
- ・ イメージ図にこだわりすぎず、できあがった作品の良さや工夫したところに目をむける気もちを育てたい。